

### 自己評価及び外部評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1591300049		
法人名	社会福祉法人桜井の里福祉会		
事業所名	グループホーム縁		
所在地	燕市分水旭町二丁目2番17号		
自己評価作成日	令和5年3月1日	評価結果市町村受理日	令和5年3月6日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	運営推進会議活用の評価		
所在地			
訪問調査日			

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホーム縁は旧分水町の中心地に位置し、商店街が近く歩いて5分ほどの所朝市も立ちます。近隣には郵便局、小学校、理美容室、病院(内科、歯科)が多くあり、入居となってもこれまで利用していたお店に出掛けていく事ができます。

平成25年から認知症カフェとして茶処『えにし』を3回(年間)し、その後毎月開催を予定していましたがコロナ禍の為全て中止となっています。開催していた時には、参加者は10名以内ですが、食事やおやつ作りを一緒に行い、令和1年度からは年に3回の昼食会も行い好評でした。

自治会に加入しており、地域のサロンにも毎回参加させてもらっていました。サロンの方も高齢の方が多く、事務局をさせてもらっていますので、ホームの認知症カフェの開催チラシと合わせて作成し地域に配布しています。

地域の方々とは茶処『えにし』とサロンで行ったり来たりの関係を作っています。

秋には「えにし祭り」を行い、広く地域に案内をしています。手作りの小さな2時間ほどの祭りですが、総勢100名との交流は地域の方も楽しみにしてくださっていました。

(※地域の活動はボランティアを含め、新型コロナウイルス感染症対策の為すべて中止となっています。)

認知症ケアの専門職として職員一人ひとりが縁を良くするための気づきを月に2回開催しています。ご利用者のケアでの困っていることとか職員の良い行動など気づきを話し共有しています。

縁の良くする為の大切にするを職員で決め毎朝確認しています。職員同士がおかしいことはお互いに注意できるように取り組んでいます。縁においてなつたどなたに対しても気持ち良いと感じていただけるよう、日々の気づきを大切にしています。

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
<b>I 理念・安心と安全に基づく運営</b>							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	朝の申し送り時に法人理念と縁で大切にすることを唱和し理解を進めている。拠店内の研修で職員の信条の具体的場面を確認している。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナウイルスの影響で茶処などの行事が中止となり面会もできない為交流ができないが、サロンに職員が行き途絶えないようにしている。	以前は行事(バーベキュー、サンマ、クリスマス、祭りなど)交流が盛んであったが今現在は難しい、その中でもやれていると思う。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナウイルスの影響で文書による会議が続き、縁での取り組みを見てもらう機会が少なかった。会議録が閲覧され周知している。	縁に来る機会がなくなり、文章をもらっても文章だけだとわからないことが多くなっている。意見を寄せたものが活かされていれば良いと思う。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議のオブザーバーとして参加されており利用状況等を報告している。介護サービスに関する事は報告相談している。地域ケア会議にも参加している。	運営推進委員会議くらいにしか参加できていない、その中でも市として出来る事があれば協力したいが、受け身でしかできないので難しい、顔を見て話をする機会も減っている為なじみも薄くなっている。市としても色々な職員が携わるようにしているのでこれからも意見があればいつでも声かけてほしい。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内で年に2回身体拘束・虐待防止研修を実施、毎月のホーム内の会議においても確認をし、理解に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人で「身体拘束廃止に関する指針」が作成されており5月には指針に基づき研修を実施し、2月に動画研修を行う予定。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束と同様に研修を実施し、職員の言動についても不適切なケアに当たらないか確認し、防止に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「高齢者虐待防止に関する指針」に基づき5月に実施し、9月に「不適切なケア・虐待のめチェックリスト」を行い確認している。3月に認知症の人の行為・行動を妨げない為の検討会を行っている。

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人の動画研修を毎年実施し理解をしている。利用の必要性のある方が少ないため支援ができていないと回答する職員もいる。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約はホーム長、リーダーが関わるが多く、利用以前について一般職員は関わっていない。しかしアセスメントシートに本人、家族の困りごと、希望など記載されており、納得して利用してもらっている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月のご利用者の会で意見を聞き行事等に活かしている。また、年に1回サービス向上の為のアンケートを利用者・ご家族に実施し公表している。改善の検討も行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月ご利用者の会でご意見をもらっている。ご家族からもサービス向上の為のアンケートを実施し、公表し、ご意見を反映している。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職場風土向上のアンケートにより意見をあげている。日常的に運営に関してホーム長へ意見をあげ相談している。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職場風土でのアンケートで就業環境の意見をあげる機会があり、また、人事考課で評価し向上心を持って働けるようになっている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職場風土向上のアンケートから法人に意見をあげている。働き方改革として法人からも提案されたポスターを掲示している。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人では動画研修を取り入れ、いつでも全職員が研修に参加できるようにしている。外部研修への参加は少し減っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「桜井の里福祉会研修システム」に基づく研修を実施している。新規採用職員、2年目、3年目、5年目、10年目、指導的職員と経験応じた必要な研修を行っている。受けた研修は復命報告で他の職員と共有し実践に活かしている。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナウイルスの影響で燕・弥彦地区の地域密着型サービス情報交換会が行われていない。情報交換や交流研修もない。			

14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の意向を尊重し、得意な事をしていただくなど、共に支え合う関係に努めている。生活者としての視点を持って関わっている。			
15	馴染みの人や場所との 関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	アセスメントシートに本人や家族からの情報を残し、話せなくなっても関係性が続けられるように支援している。大切な家族に直接会えない時もメールで写真を送り、面会できる時には来ていただいている。	オンライン面会があまり進んでいない、ZOOM やスカイプなど使用しているもなじみがなく難しい。メールでの写真はありがたいのでこれからも続けてほしい。電話等いつでも自由に続けてほしい。		
<b>II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人に希望を聞くことを大切にし、アセスメントへの記入や更新をして把握に努めている。			
17	チームでつくる介 護計画とモニタリ ング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	3ヶ月に一度モニタリング、サービス担当者会議を行い、ライフサポートプランに反映させている。また、体調に変化があった場合はカンファレンスを行い、職員同士常に話し合っている。	プランのチェックは必要でPDCA サイクルを意識してほしい。 本来6ヶ月に1度で良いモニタリングを3ヶ月毎に細かくして良いと思う。体調に変化があった場合(入院後)などには、プラン変更をしている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	3ヶ月に一度のモニタリングは必ず本人も参加している。ご家族からも要望があるか電話等に確認している。実践できるプランを作成している。
18	個別の記録と実践 への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の様子やプランに沿った記録を残し申し送り等により情報の共有をしている。気づきや工夫もあれば記録やカンファレンスをおこないケアに活かしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケース記録では本人の言葉は●、家族の言葉(意見)は△、職員の気づき等は○などと分かりやすく表記し情報を共有している。生活に必要なことはすぐにカンファレンスを行い、ケース記録に記載の上紙ベースで印刷し周知している。
19	一人ひとりを支える ための事業所の多 機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人の状況に合わせて外出、買い物など柔軟に対応している。医療面で心配なことがあれば看護、理学療法士、言語聴覚士などの連携もあり多職種連携にも努めている。	状況などを鑑みて今は難しいかもしれないが、外で会うこともあるのでしていただけていると思う。このまま継続してほしい。		

20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	これまでの本人の交流関係や地域との交流に関しては把握しているが、コロナウイルスの影響で交流することはあまりできない。	地元の方との交流は今後も続けたいと思う。今の状況が緩和されれば今後も続けてほしいと思う。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居してからそれまでのかかりつけ医を継続して受診している。ご家族からも同行していただき状態の把握をしてもらっている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホーム長、リーダー、計画作成担当者が中心となり、入院時等に病院と連絡を取り早期に退院できるように支援している。また退院後のホームでも暮らしを考え、かかりつけ医との連携もしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	4月1名、5月1名、6月1名、10月2名、1月1名の入院者ある。病院へ付き添い、病院スタッフへ情報を提供し、医師からの説明の際にもできるだけ職員が参加しホームのできることやかかりつけ医への協力など伝え、早期退院に努めている。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時から看取りケアについて説明しその時点で気持ちやまたホームで永眠された方がおられた際にお聞きしている。意向確認も年に1回行っている。医療・看護との連携も取れるようになってきている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居契約の際の「入居者の重度化への対応とターミナルケアのかかる指針」を説明し、同意をもらって入居している。看護師と協働しかかりつけ医から看取りの協力を得ている。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	容態急変訓練を年に2回行い、急変時の初動の職員の動き、AED、吸引、通報訓練など実践に近い形で行っている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月何かしらの避難訓練を行っており、1年間で全職員が訓練に参加できるようにしている。年に1回は消防立合いの避難訓練を実施し地域の運営推進委員から協力体制が築けている。	今まで長年参加している中で縁ではよくやっていると思う。こちらで非常に評価できる。2階で火災が発生した場合、避難方法を消防を連携していく必要がある。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営計画の防災計画に基づき実施している。11月30日に消防立合い避難訓練を実施した。運営推進委員には大雨避難訓練を見学してもらっていた。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	言葉かけや対応には十分に気を付けている。職員間でも言葉使いなど互いに注意し合えるようにしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	プライバシーの保護に関する動画研修を実施した。排泄の事や病気の事、プライバシーに関する事は皆様の前でしないよう注意あっている。

27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ひとり一人のペースを大切に希望があれば外出や床屋などお連れできている。職員の人数等によっては希望に添えない時も説明した後日叶えるようにしている。		
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食べたいものをお聞きし、季節の旬の物を取り入れるようし、調理方法など利用者へ聞きながら準備している。食事準備から片付けまで一緒にやっている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	開設当初から食事はご利用者と職員が協力して買い物、下ごしらえ、一緒に食事、片付けをすることのこだわり実践している。冷蔵庫から食材を取り出し何が出来るか一緒に考えて作っている。急な要望で対応できない時は別の日になることもある。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	状態に合わせて量や食事形態などで提供し、捕食なども取り入れている。好きなもの、食べやすい物など十分に栄養や水分が取れるように支援している。		
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後口腔ケアを行っている。歯磨き、義歯の洗浄、スポンジブラシなどの方に必要なケアを行っている。どうしてもできない方もいる。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	起床時、昼食後、就寝前は念入りに口腔ケアをしている。いつでも歯磨きができるよう洗面台の脇に用意して状態に合わせて行っている。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄パターンを把握し、トイレで排泄を促している。自立された方はいるが、個々に応じた便秘の予防に取り組んでいるが難しい方もおられる。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄の失敗をしないことを自立と評価せず、自分で交換することも支援している。起床時の水分補給や乳製品など取り入れ便秘予防に取り組んでいる。
32	入浴を楽しむことのできる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の希望をお聞きしているが、入浴表で事前に入らなければならない方を優先している。職員体制や受診などで入っていただけないこともある。		
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	体調や習慣に沿って昼寝や休息をとってもらっている。部屋の温度を調整し気持ち良く休めるよう支援している。		

34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ひとり一人の薬ケースを用意し、薬の情報(名称、効能、副作用など)を表記している。薬が変わった時には速やかに変更している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬の配薬ミスが無いよう必ずひとり一人確認して服薬してもらっている。服薬後に体調の変化がないか確認している。飲み残しがないようダブルチェックを行い、マニュアルも整備されている。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時アセスメントシートで生活歴や楽しみなど情報を集め、ライフサポートプランに明記し支援できるようにしている。	飲酒などにも寛容で本人は楽しめているんだと思う。ビール、料理、おこわ作りなど安心して好きな事をこれからも本人の楽しみとして支援してほしいと思う		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍のため外出には制限が多いが、できるだけ戸外に出るようドライブなどに誘うことが多かった。家族や地域の方からの協力は求めている。	散歩やドライブを中心にやっている、菊祭りなど季節行事なども行っていただけており嬉しい。続けてほしい。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時からお部屋の金庫で小遣いを本人管理とし自由に使えるようにしている。出掛ける際には財布を持つように声掛けしている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	県内外に住む親せきに手紙を出されている方はいる。電話は希望があればすぐにおかけして会話をしてもらっている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	室内は全てバリアフリーで安全に生活でき、居室、トイレ、浴室など表札が設置され分かりやすくなっている。季節の花や装飾を玄関やリビングに飾り居心地良い空間作りをしている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節の装飾をして一年を感じてもらっている。特に冬はこたつを立てのんびりと過ごすことができるようにしている。	

IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人のペースで過ごしている、好きなビールを飲んでいる、好き勝手に過ごさせてもらっているという方が多い反面、家族に会えず我慢している方もおられる。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴など情報はあり理髪店や地域の方の交流がある方がいる反面、本人の状態に合わせて分かる範囲で支援をしている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医師や看護職員と連携し定期受診へお連れしている。本人の状況に合わせて環境整備を行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	健康面については看護職員に常に相談できるようになっており、担当職員がご家族と一緒に受診をする場合もある。本人の体調に合わせてお部屋の配置変更も行っている。	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	休みたい時に休み、本人のペースで生活できている方が多い。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の意思で持ってきたと言われる方やこだわりのある方は2名で後の方は家族写真などが多く、馴染みの物はあまりないのが現状である。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居の際の日頃から使用していた本人の物とわかるものは持参してもらっている。特に寝具は新しい物より使い慣れたものを使用してもらっている。	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の意向により買い物など外出している。イベントなどは希望を聞きながらお誘いし出かける機会を提供している。	出来るだけ出かけているようなので今後も続けてほしい。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	調理や洗い物、台拭き、カーテン閉め、行事での挨拶など少しでもできること役割として楽しみながらやっていたらいい。できない方もいる。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場を日々の暮らしの中で得ることができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員や他の利用者との会話を楽しまれている方が2名、日々の活動場が少ない方が6名おられる。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご自身の意向を発言できる方の活動はもちろんのこと、発言の無い方での散歩で戸外に出ることは支援している。十分に楽しめる方と活動が少ない方がいるのが現状である。	



48		<p>本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている</p>	<p>A. 十分にできている          B. ほぼできている  <u>C. あまりできていない</u>          D. ほとんどできていない</p>	<p>理髪店など行きつけの店の方との交流はあるが、コロナ禍で地域の方との交流ができていない。</p>	<p>出来ないことは仕方がない、出来る事をしっかりしているので評価できると思う。今の状況を見て過程を大事にして評価してほしい。</p>	/	/
49	総合	<p>本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている</p>	<p>A. 十分にできている  <u>B. ほぼできている</u>          C. あまりできていない          D. ほとんどできていない</p>	<p>職員との関係は良く安心して生活されている。まだまださらなる本人の大切な思いを叶えなければならぬという意見もある。</p>	<p>今まで通りと言うのは確かに難しいかもしれないが出来る事をしっかりしていただいているので今後も続けられることは続けていってほしい。</p>	<p>A. 十分にできている  <u>B. ほぼできている</u>          C. あまりできていない          D. ほとんどできていない</p>	<p>個人の買い物や市場なども買い物や近所散歩は継続できている。面会制限があり十分に地域との交流はできないが、四季折々の行事を行い楽しんでいただいている。</p>

## 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

## 「IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)」全体表

No.	タイトル	評価項目	利用者個票からの転記(自己評価の A、B、C、D を記入)									記述
			⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	
<b>IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)</b>												
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	B	C	C	C	B	A	B	C	B	本人のペースで過ごしている、好きなビールを飲んでいる、好き勝手に過ごさせてもらっているという方が多い反面、家族に会えず我慢している方もおられる。
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができる	B	C	C	B	B	B	B	C	C	生活歴など情報はあり理髪店や地域の方との交流がある方がいる反面、本人の状態に合わせて分かる範囲で支援をしている。
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができる	A	B	B	B	A	A	B	B	B	医師や看護職員と連携し定期受診へお連れしている。本人の状況に合わせて環境整備を行っている。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	B	B	B	A	A	B	B	C	B	休みたい時に休み、本人のペースで生活できている方が多い。
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができる	B	A	C	B	B	A	C	B	C	本人の意思で持ってきたと言われる方やこだわりのある方は2名で後の方は家族写真などが多く、馴染みの物はあまりないのが現状である。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	B	B	C	B	B	B	A	B	C	本人の意向により買い物など外出している。イベントなどは希望を聞きながらお誘いし出かける機会を提供している。
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	B	C	C	B	B	A	C	C	B	調理や洗い物、台拭き、カーテン閉め、行事での挨拶など少しでもできること役割として楽しみながらやっていたい。できない方もいる。
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひとつや、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	B	C	C	A	C	A	C	C	C	職員や他の利用者との会話を楽しまれている方が2名、日々の活動場面が少ない方が8名おられる。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	C	B	C	B	C	B	C	B	C	理髪店など行きつけの店の方との交流はあるが、コロナ禍で地域の方との交流ができていない。
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる	B	C	B	A	B	B	C	B	C	職員との関係は良く安心して生活されている。まだまださらなる本人の大切な思いを叶えなければならぬという意見もある。